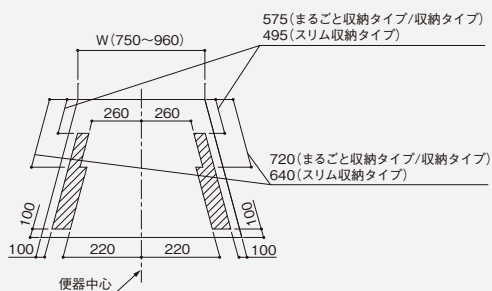


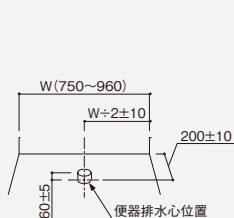
●I型



2-3 排水位置

●排水心200mmの場合

- ・排水管(VP-VU75またはVP-VU100)は床仕上げ面から 60 ± 5 mmで立ち上げてください。
- ・排水管の材質および高さが図と異なる場合、表の必要部材を別途ご発注ください。
- また、フランジを利用する場合も必要に応じて表の部材を別途ご発注ください。



必要部材

●排水心200mm

		排水管高さ	
		0~55mm未満	55mm以上
排水管	VP-VU 75/100	60mm立ち上げ用アダプター (HH01001R)	—
	鉛管 φ75/100	排水ソケット (T90SW75/100) にて立ち上げ直しが必要	

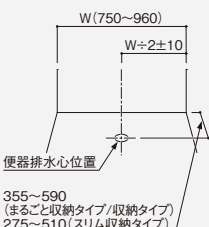
●排水心200mm(フランジ利用)

排水管	VP-VU 75/100	取り替えアダプター (HH01003R) フランジ (HP430-7/HP430-1) ※
	鉛管 φ75/100	取り替えアダプター (HH01003R) フランジ (T53WR75/T53WR100) ※

※既設フランジが使用できない場合

●排水心可変の場合

- ・既設フランジを利用します。
- ・既設フランジが使用できない場合、下記のフランジを別途ご発注ください。



必要部材

排水管	VP-VU 75/100	フランジ (HP430-7/HP430-1)
	鉛管 φ75/100	フランジ (T53WR75/T53WR100)

2-4 補強材位置

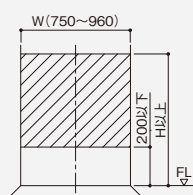
- ・木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。
- ・間柱および受木が所定の位置にあることをご確認ください。

(1) 大便器キャビネット部

① 壁裏補強あり

- ・図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。

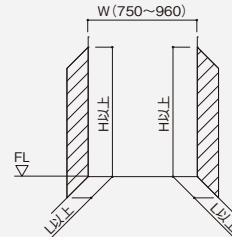
〈後壁について〉



(単位:mm)	
タイプ	H
まるごと収納タイプ	1070
収納タイプ	890
スリム収納タイプ	890

〈横壁について〉

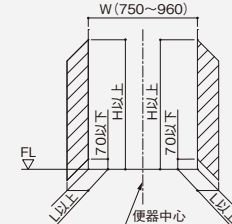
●L型



(単位:mm)

タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
スリム収納タイプ	890	160

●I型



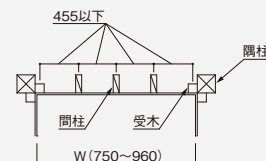
(単位:mm)

タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
収納タイプ	890	240
スリム収納タイプ	890	160

② 壁裏補強なし

〈後壁について〉

- ・壁裏補強なしで施工する場合、大便器キャビネットを間柱、受木に固定します。
- ・間柱および受木が所定の位置にあることをご確認ください。

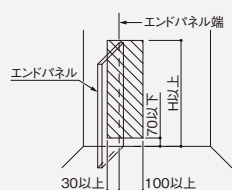


〈横壁について〉

- ・壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー(オプション:L型の場合UGA490B、I型の場合UGA490A)をご使用ください。

(2) エンドパネル部

- ・図の斜線範囲にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・図はRタイプのエンドパネルの場合です。Lタイプの場合は左右反転となります。



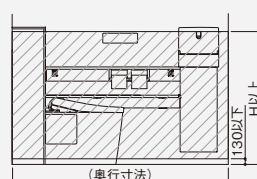
(単位:mm)

タイプ	H
まるごと収納タイプ	1070
収納タイプ	890
スリム収納タイプ	890

(3) L型手洗器キャビネット部

① 壁裏補強あり

- ・図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。

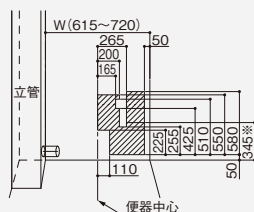


(単位:mm)

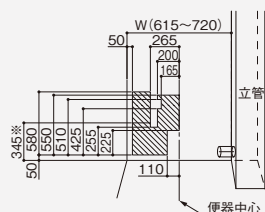
手洗器	H
ベッセルタイプ(丸形/角形)	740
ハイバックタイプ	1030

●立管あり(I型のみ) 左抜きの場合

フレキホース(TN98L2X30)およびウォシュレット用給水ホース(TCA525)を別途ご発注ください。



●立管あり(I型のみ) 右抜きの場合

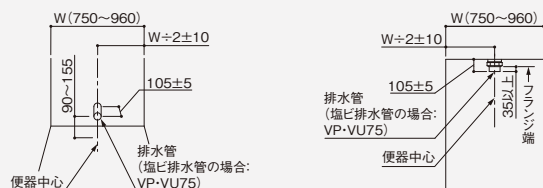


2-2 排水位置

- ・VP・VU100には接続できません。
- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。

●後ろ抜きの場合

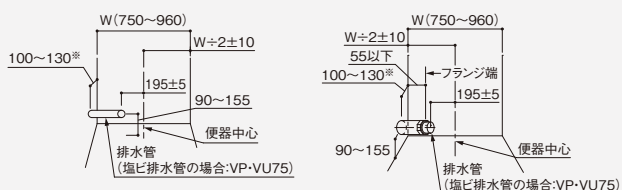
【フランジ付きの場合】
排水位置高さは90~155mmです。



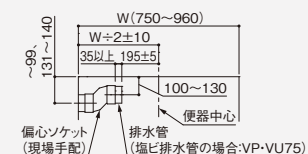
●左右抜きの場合

図は左抜きの場合です。右抜きの場合は左右対称となります。

【フランジ付きの場合】

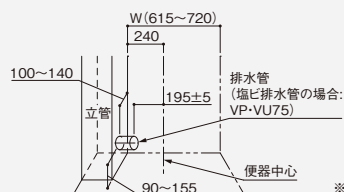


※排水位置が後壁から99、131~140mmの場合は、別途偏心ソケットを手配し図の位置に立ち上げてください。偏心ソケットは逆勾配にならないように取り付けてください。



●立管あり(I型のみ) 左右抜きの場合

図は左抜きの場合です。右抜きの場合は左右対称となります。



※図は立管隠ぺいタイプの場合

2-3 補強材位置

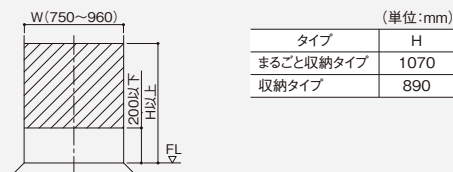
- ・木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。
- ・間柱および受木が所定の位置にあることをご確認ください。

(1) 大便秘器キャビネット部

① 壁裏補強あり

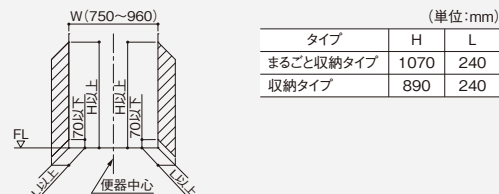
- ・図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。
- ・周辺部材に関しては各説明書をご参照ください。

〈後壁について〉



(単位:mm)	
タイプ	H
まるごと収納タイプ	1070
収納タイプ	890

〈横壁について〉



(単位:mm)		
タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
収納タイプ	890	240

② 壁裏補強なし

〈後壁について〉

- ・壁裏補強なしで施工する場合、大便秘器キャビネットを間柱、受木に固定します。
- ・間柱および受木が所定の位置にあることをご確認ください。



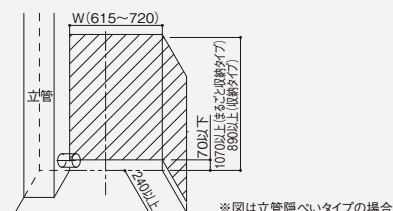
〈横壁について〉

- ・壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー(オプション:L型の場合UGA490B、I型の場合UGA490A)をご使用ください。

③ 立管あり(I型のみ)

〈壁裏補強あり〉

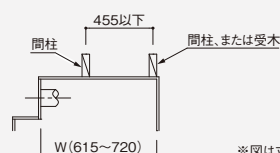
- ・図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・図は左抜きの場合です。右抜きの場合は左右対称となります。
- ※軽量鉄骨(LGS)の場合も同様です。
- ・周辺部材に関しては各説明書をご参照ください。



※図は立管隠ぺいタイプの場合

〈壁裏補強なし〉

- ・壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー(オプション:UGA490A)をご使用ください。
- ※軽量鉄骨(LGS)の場合も同様です。



※図は立管隠ぺいタイプの場合